

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成16年12月9日(2004.12.9)

【公表番号】特表2000-514329(P2000-514329A)

【公表日】平成12年10月31日(2000.10.31)

【出願番号】特願平10-505113

【国際特許分類第7版】

A 6 1 C 8/00

【F I】

A 6 1 C 8/00 Z

【手続補正書】

【提出日】平成16年4月1日(2004.4.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

手 続 補 正 書

平成16年4月1日

特許庁長官 殿



1. 事件の表示

平成10年特許願第505113号 ✓

(PCT/SE 97/01034)

2. 補正をする者

事件との関係 特許出願人

名 称 ノベル バイオケアー アーバー (パブル)

方 式 査

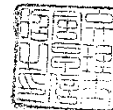


3. 代 理 人

住 所 〒550-0001 大阪市西区土佐堀1丁目6番20号

A381

新栄ビル6階 TEL(06)6441-1816

氏 名 ~~(10381)~~ 弁理士 風 早 信 昭

4. 補正対象書類名

請求の範囲

5. 補正対象項目名

請求の範囲



6. 補正の内容

- (1) 請求の範囲を別紙の通り訂正する。

以 上

別 紙
請 求 の 範 囲

1. インプラントシステム用の装置であって、この装置が固定具（１）（錨止素子）とこの固定具にしっかりと螺入されるスペーサねじ（２）、これらと組み合わされたスペーサ素子（３）、およびユニット（４）（例えば前記スペーサねじにしっかりと螺入される筒状体（補綴構造体））を含み、この固定具が内部螺条（１ a）（この内部螺条中にスペーサねじが対応する外部螺条（２ a）により螺入されることができる）、スペーサ素子のための接触表面（１ d）、およびスパナ取付部（１ e）を有し、かつスペーサねじ（２）がその外部螺条の上に位置する筒状部分（２ b）を有するものにおいて、この固定具がスパナ取付部内に位置する凹所（１ f）を備えており、スペーサねじがこの固定具中にきっちりと引き込まれるときにこの凹所内にスペーサねじの筒状部分（２ b）に係合されることを特徴とする装置。

2. 凹所（１ f）の深さ（１'）、即ち筒状部分が凹所内に係合されることができる範囲が固定具の前記内部螺条（１ a）の２－４つのターンに本質的に対応することを特徴とする請求の範囲１に記載の装置。

3. ユニット（４）をスペーサねじに保持するための保持ねじ（５）に設けられた外部螺条（５ a）が、スパナ取付部内に凹所がない場合に比べて、スパナ取付部の凹所（１ f）内の筒状部分の係合度（１' ' '）に対応する延長部を持ち、これが保持ねじ（５）の希望の強度機能を実質とすることを特徴とする請求の範囲１または２に記載の装置。

4. 凹所の直径がスペーサねじの外部螺条（２ a）の直径（d）より僅かに大きく、それによりこの凹所がスペーサねじが固定具の内部螺条中に螺入されるときにスペーサねじの案内機能を果たすこととなることを特徴とする請求の範囲１，２または３に記載の装置。

5. スペーサねじ（２）がスペーサねじが固定具（１）中に螺入されるときの前記凹所（１ f）内への重要な案内機能を与える目的のためにその自由端にタップ（２ f）を備えていることを特徴とする請求の範囲１～４のいずれかに記載の装置。

6. スペーサねじの筒状部分（2 b）が螺条のない部分（2 c）に続いており、この螺条のない部分（2 c）がスペーサねじの前記外部螺条（2 a）に続いていることを特徴とする請求の範囲 1～5 のいずれかに記載の装置。

7. 凹所が固定具の上部、好ましくは固定具のスパナ取付部（1 e）に本質的に対応する上部、の螺条の不在を必然的に伴うこと、および螺条（螺条ターン）の前記不在がスペーサねじが固定具に締付けられるときに固定具が前記上部で衝撃力による負荷を本質的に受けないまま残ることを意味することを特徴とする請求の範囲 1～6 のいずれかに記載の装置。

8. 内部螺条ターンがない場合に比べて、固定具自身の内部螺条ターンが壁部分（1 c）の強化を形成するところの前記上部の固定具の壁部分の機械的強度を保証するように固定具の凹所が最大深さ（1'）を有することを特徴とする請求の範囲 1～7 のいずれかに記載の装置。

9. 凹所の深さ（1'）が 0.5～2.0 mm の範囲内で選ばれ、好ましくは約 1.0 mm であることを特徴とする請求の範囲 1～8 のいずれかに記載の装置。

10. 筒状部分の凹所（1 f）内への係合度（1' ' '）がスペーサ素子の高さに依存することを特徴とする請求の範囲 1～9 のいずれかに記載の装置。